



緑川隊長の説明に真剣に耳を傾ける葛巻中の生徒の皆さん

春の交通安全教室 交通ルール再確認

4月、交通指導員、駐在所職員らが各保育園、小学校、中学校を訪問し、交通安全教室を実施しました。

9日は葛巻中学校で行われ、自転車の交通ルールを改めて確認しました。交通指導員の緑川猛雄隊長は実際に自転車を使いながら、自転車に乗る際のルールについて「自転車は車の仲間です。守るべきルールがあります」と改めて注意を促していました。山谷颯さん(3年)は「保険加入、自転車の点検、交通ルールなど学んだことを守りたい」と感想を述べました。

山火事防止呼び掛け 町内全域をパレード

町山火事防止対策協議会(会長、鈴木重男町長)は4月10日、くずま〜で町や県、消防団や林業団体など関係者20名が出席し、開催されました。鈴木町長は「葛巻町は林野率が高く、この時期は特に入山者も多い。町民や来町者に山火事防止に対する理解を広めていただきたい」とあいさつ。その後、山火事防止の横断幕やステッカーを付けた消防車など関係車両が、くずま〜から町内3方向へ一斉に出発し、山火事への注意を呼び掛けながら、パレードを行いました。



関係車両を見送る五日市保育園の園児たち

鍵かけモデル地区 岩手警察署が指定

4月15日、岩手警察署葛巻駐在所で鍵かけモデル地区指定書の交付式が行われ、新町自治会が指定を受けました。

新町自治会が指定されるのは、昨年度に引き続き2回目。高橋淳岩手警察署長は「鍵をかけることで、空き巣などから狙われる可能性を下げることができる。引き続き呼び掛けをお願いしたい」とあいさつしました。向川原徳志新町自治会長は「今後も声かけやチラシの配布など継続していきたい」と鍵かけへの意識を高めていました。



指定書を受け取った向川原会長と高橋署長



自らの成長を誓う第45期研修生の皆さん

山地酪農研修センター 希望を胸に4人が入所

町山地酪農研修センターの入所式が4月4日、くずま交流館プラトールで行われ、第45期生4人が入所しました。

鈴木重男町長は「山村地域での酪農体験など多様な経験を楽しみながら、知識のみならず知恵を身に付けて、自らの成長と発展を感じてほしい」とあいさつ。研修生を代表して熊谷和暉さん(宮城県)が「体験で得た山村活用への広い視野と知見を生かして、町に少しでも寄与できるよう努力します」と研修生としての決意を述べました。

葛巻クラブ今季始動 初戦に向け意気込み

葛巻クラブ(町サッカー協会)は4月6日、リーグ戦の初戦に向け、町総合運動公園で盛岡市立高等学校、岩手クラブ(岩手町)とトレーニングマッチを行いました。

葛巻クラブは東北社会人リーグ2部北に昇格して今季で3シーズン目を迎えます。家田佳朗監督は「厳しい1年となる。皆さんの応援で後押しをしてほしい。葛巻のトップチームとして子どもたちの見本となる戦いをしたい」と意気込みを語りました。初戦は5月19日、つなぎ多目的運動場で大宮SCと対戦します。



相手チームを突破する葛巻クラブの選手(青のユニフォーム)

保護司らが学校訪問 非行帽子へ思い込め

4月、町更生保護推進協議会の皆さんが各中学校の1年生に「非行帽子マスコット」などを贈り、犯罪や非行の防止を呼び掛けました。

8日には小屋瀬中学校を保護司の丹内勉さん、中山優彦さん、更生保護女性の会の荒谷光子さん、高宮光子さんが訪問し、犯罪を犯した人の更生に向けた支援や犯罪予防など更生保護の役割や活動を説明。荒谷さんは「安全で安心の社会になりますように」と手作りの非行帽子へ込めた想いを話し、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



非行帽子へ込めた想いを話す荒谷さん(円内)とマスコットを受け取った小屋瀬中学校1年生の皆さん